

2 市土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標及びその地域別の概要

(1) 市土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標

ア 目標年次

計画の目標年次は平成32年とし、基準年次は平成20年とします。

イ 目標年次における将来人口

市土の利用に関して基礎的な前提となる人口について、砂川市第6期総合計画では平成32年において16,816人を推計していることから、目標年次における将来人口として約17,000人を想定します。

ウ 市土の利用区分

市土の利用区分は、農用地・森林・宅地等の地目別区分とします。

エ 市土の利用区分ごとの規模の目標を定める方法

市土の利用区分ごとの規模の目標については、利用区分別の市土利用の現況と将来の利用の可能性、人口、産業構造などを勘案しつつ、利用区分別に必要な土地面積を予測し、土地利用の実態との総合的な調整を行い定めるものとします。

オ 目標年次における規模の目標

市土の利用の基本構想に基づく平成32年の利用区分ごとの規模の目標は、次表に示すとおりです。

なお、数値については、今後の社会・経済の不確定さなどにかんがみ弾力的に理解されるべき性格のものとなっています。

表 市土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標

(単位：ha,%)

区 分	平成20年	平成32年	構 成 比	
			平成20年	平成32年
農用地	1,629	1,634	20.7	20.8
（農地）	1,629	1,634	20.7	20.8
（採草放牧地）	0	0	0.0	0.0
森 林	2,882	2,886	36.6	36.7
原 野	74	58	0.9	0.7
水面・河川・水路	1,053	1,055	13.4	13.4
道 路	589	591	7.5	7.5
宅 地	574	574	7.3	7.3
（住宅地）	262	260	3.3	3.3
（工業用地）	80	93	1.0	1.2
（その他の宅地）	232	221	3.0	2.8
その他	1,068	1,071	13.6	13.6
合 計	7,869	7,869	100.0	100.0
市 街 地	530	515	6.7	6.5

(注1) 道 路：一般道路

(注2) 市街地：「国勢調査」の定義による人口集中地区

平成20年欄の市街地面積：平成17年の国勢調査による人口集中地区面積

(2) 地域別の概要

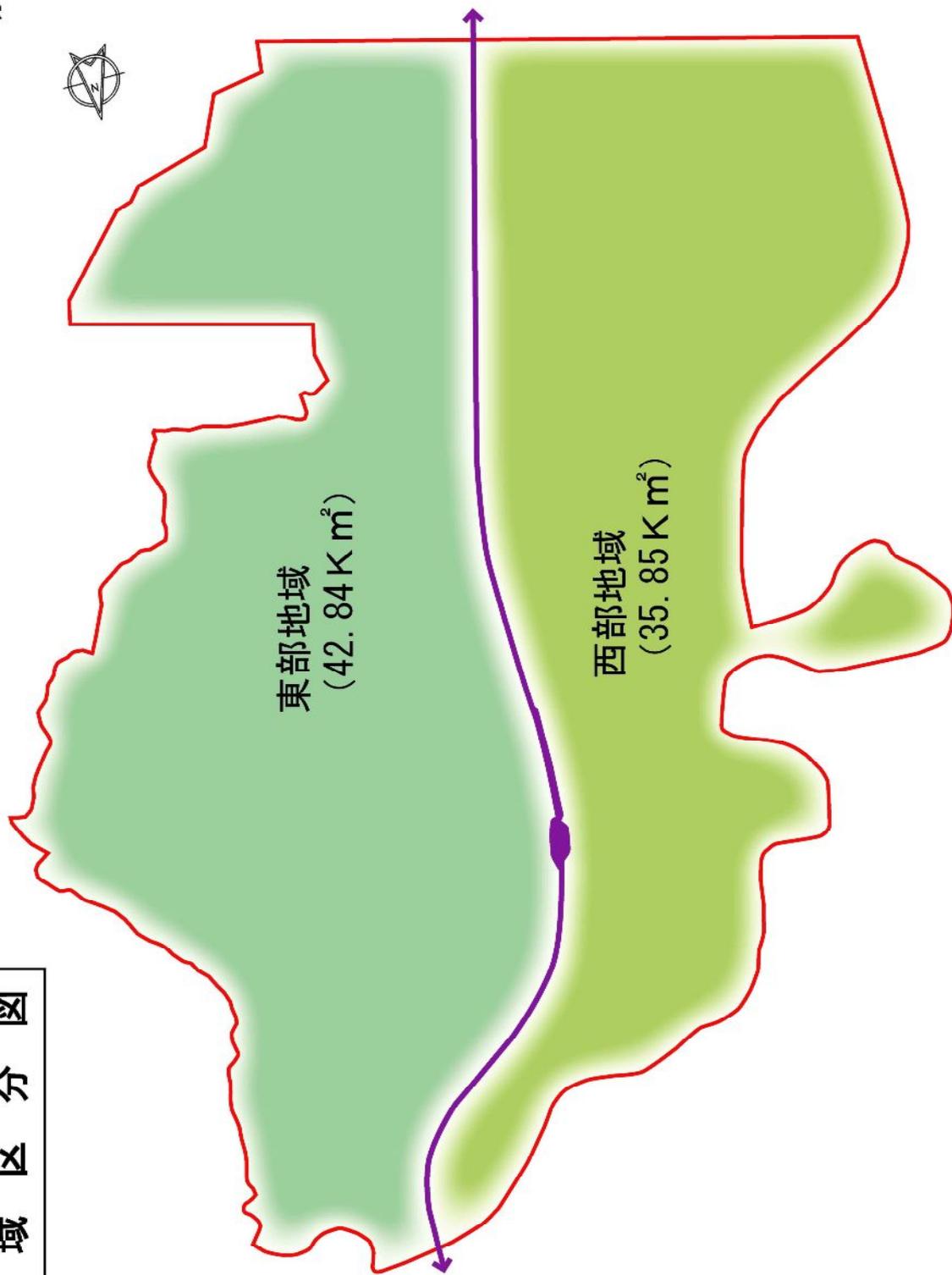
ア 地域別の区分

地域を区分するにあたっては、自然的・経済的・社会的諸条件及び地形的特徴を勘案し、次表に示す2地域とします。なお、地域別の範囲は、別図1に示すとおりとします。

地 域 名	主な字名・条丁目
東部地域	富平の一部、空知太の一部、北光の一部、一の沢、 焼山の一部、北吉野町の一部、南吉野町、鶉、宮城の沢、 東豊沼の一部
西部地域	富平の一部、空知太の一部、北光の一部、焼山の一部、北 吉野町の一部、三砂町、東豊沼の一部、豊沼町、西豊沼、 オアシス、条丁目

別図1

地域区分図



イ 目標年次における地域別の概要

(7) 東部地域

本地域は、道央自動車道の東側に位置し、自然環境が豊かな森林地帯と山間や丘陵地帯に農用地が広がっていることから、農用地と森林が調和し、環境の保全に配慮した土地利用が予想されます。

森林については、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮されるよう引き続き造林等による森林形成に努め、無秩序な開発の未然防止によって自然環境の保全が図られるとともに、山地災害の防止及び水源涵養等、森林機能の向上が予想されます。

農用地については、生産性の向上に向けた生産基盤整備等を進め、地域の特性に配慮した有効利用と高度利用が予想されます。

恵まれた自然環境と風致のなかに立地している北海道子どもの国は、市民のライフスタイルの多様化や社会ニーズを踏まえ、施設整備の充実と自然環境を保全し、自然観察や体験学習等のふれあいの場として適切な利用が予想されます。

(4) 西部地域

本地域は、道央自動車道の西側に位置し、JR函館本線と国道12号を中心として本市における市街地形成がなされた都市地域と、市街地を取り巻く農業地域が広がっていることから、市街地と農用地の調和を図るとともに、西端には雄大な石狩川、空知川が位置しており、快適な住環境の創出と産業の振興に主眼をおいた土地利用が予想されます。

中心市街地においては、低未利用地の解消やまちなか居住など、将来人口に対応する住宅地の形成を目指し、JR砂川駅や地域交流センター、市立病院、商店街を結んだまちなかの回遊につながる生活環境の整備等が進められ、商業地域の活性化と連携した快適な住環境の形成が予想されます。

主な工業用地は、市街地に隣接して分散していることから、周辺の自然環境及び住環境に配慮しつつ、工業の振興と雇用の場の確保や拡大のための適正な整備や土地の高度利用が予想されます。

農用地については、幹線水路や生産性の向上に向けた生産基盤整備等が進められ、優良農地の保全や農用地の利用集積などによる農業の振興が予想されます。

本地域の石狩川、空知川、砂川オアシスパーク、袋地沼などの豊かな水辺環境はスポーツ・レクリエーションの場となっており、河川環境の保全と良好な親水空間としての整備と維持など、有効利用が予想されます。